

新型コロナ感染拡大による非常時における 「オンラインによる学習支援」マニュアル

1 はじめに

本来、学校で行う授業というものは、児童生徒が問題を見だし、個人で追究したり、仲間とかかわり合いながら追究したり、時には、教師の支援を受けながらその問題を解決していくものである。また、授業であれば、欠席でない児童生徒は全員参加でき、評価をともなうものである。オンラインにおいて前述の授業を行うことは、現在の蒲郡市の学校の状況や家庭の Wi-Fi 環境からすると難しい状況下である。新型コロナ感染拡大による非常時である現時点においては、何らかの事情で Wi-Fi がつながらなかった児童生徒がいたり、活動のすべてに評価がともなわないことがあったり、学校側からの一方的な知識の伝達になったりする場合があったりすることが考えられる。そこで、これまで「オンライン授業」としてきた文書等の表記を「オンラインによる学習支援」としてすすめていくこととする。

2 家庭とのオンラインでできること

(1) 「Microsoft Teams」を利用して

- ① 学級のチームを作り、お便りなどを配付できる。
- ② 会議を開き、顔を見合わせて会話をしたり、健康観察をしたりすることができる。
- ③ 教員のタブレット画面を児童生徒のタブレット画面に表示させることができる。

(2) 「インストールされているソフト」を利用して

- ① 「SKYMENU」や「コラボノート」を使って個別の学習をまとめることができる。
 - ② 「SKYMENU」や「コラボノート」を使って協働的な学びができる。
- ※ ただし、これら①②は、学校において「SKYMENU」や「コラボノート」を児童生徒が使い慣れている状況であることが前提である。

3 今後の目標

10月に学級閉鎖や学年閉鎖などがあった場合には、その学校で、下記4(2)①の例に近い半日程度の「オンラインによる学習支援」を実施する。

4 「オンラインによる学習支援」の例

(1) 一部の児童生徒のみがオンラインで参加し、他の児童生徒は教室で授業を受ける場合

- ① 事前に、該当児童生徒のタブレットや学習に必要なプリントなどを保護者に取りに来てもらう。または届ける。
- ② 教員のタブレットを教卓に置き、板書のみを映し、教員はヘッドセット (Bluetooth) を付けて行う。
- ③ 内容に関する質問があれば、オンラインの児童生徒でも、教室にいる児童生徒と同じようにタブレットのマイクをオンにして質問する。

(2) 学級閉鎖等で、学級全体での「オンラインによる学習支援」を行う場合
視力低下などの健康面も考え、学習時間を30分単位とした。休憩30分。

① 日程の例

| | |
|-------------------|--|
| 8 : 30 | 朝の会 (健康観察等) - Teams |
| 9 : 00 ~ 9 : 30 | 1時間目 - Teams など |
| 10 : 00 ~ 10 : 30 | 2時間目 - Teams など |
| 11 : 00 ~ 11 : 30 | 質問タイム - Teams OR ドリルパーク OR 自主学习 + 帰りの会 (翌日連絡) - Teams |

② 1時間の内容の例A (Teamsを使った国語)

◇序盤の 5分 出席確認と説明

Teams を使って、参加者一覧か画面の児童の顔を見て出席確認したら、児童機に教員画面を共有して提示する
(オンラインによる学習支援を実施する場合に向けて
を参照)。

事前に課題プリント「ことわざ」を配布しておく。

◇中盤の 15分 教科書やネットを使ってもよいのでことわざの意味を調べさせる。

◇終盤の 10分 発表やまとめ、次時の確認

1人ずつ指名してスポットライトをあてて発表させる。
最後に教員の話、次回の内容を伝え終了する。

③ 1時間の内容の例B (Teamsとパワーポイントを使った社会)

◇序盤の 5分 出席確認と説明

Teams を使って、参加者一覧か画面の児童の顔を見て出席確認したら、児童機に教員画面を共有して提示する。

課題「屋久島の気候について調べる」

◇中盤の15分 ネットを使った調べ学習

生徒は、課題についてインターネットを使って調べ、パワーポイントにまとめる。

※事前にこれらのソフトを使ってまとめる経験をしておく必要がある。

◇終盤の10分 発表やまとめ、次時の確認

指定した生徒が自分の画面を共有してみんなに提示させ、パワーポイントの画面を出させて発表させる。

最後に教員の話、次回の内容を伝え終了する。

④ 1時間の内容の例C（Teamsとコラボノートを使った算数）

◇序盤の10分 出席確認と説明

Teamsを使って、参加者一覧か画面の児童の顔を見て出席確認したら、児童機に教員画面を共有して提示する。課題「グラフから正比例の式を求める」を教員のコラボノートにあるグラフの画面を児童機に転送して説明する。

<資料1>

「Teams」で「コラボノート」の画面を児童機に表示させた状態

The screenshot shows a Microsoft Teams meeting interface. At the top, it says "General" で会議中. Below that, there are icons for "制御を要求" (Request Control), a list of participants, a chat icon, a share icon, and a "退出" (Exit) button. The main part of the screen is a shared OneNote page titled "寄せ書き・28人枠 (A3横) - A3横 - (協働学習中)". The page contains a grid with a graph in the top-left cell. The graph has a red line and a red box around it. On the left side of the OneNote page, there are navigation buttons and a sidebar with a red notification icon. On the right side, there are toolbars for "フリーペン" (Free Pen), "文字" (Text), "画像" (Image), "ファイル" (File), "ログ" (Log), and "グラフ" (Graph). At the bottom of the OneNote page, there are icons for chat, share, and other tools. On the right side of the Teams window, there is a video feed of a participant named "小嶋 智巳" (Tomomi Kodama) with a blue avatar. At the bottom of the Teams window, there is a yellow circle with the letter "Y".

◇中盤の10～15分 練習問題

児童は各々でコラボノートに自分の考えと答えの式を書き込み、仲間と共有する。

◇終盤の5～10分 発表やまとめ、次時の確認

任意の児童の枠を拡大表示し、Teamsで該当児童にスポットライトをあて発表させる。

最後に教員の話、次回の内容を伝え終了する。

②のコラボノートの部分をSKYMENUのグループワークなどに変えるのもよい。

(3) その他

「オンラインによる学習支援」を行う場合の準備や計画、注意する点、Teamsの使い方については、先日発出したオンライン授業を実施する場
合に向けて 修正版を参照のこと。

このマニュアルについての問い合わせ

蒲郡市教育委員会学校教育課（TEL 66-1165）